



松林小だより

平成30年5月31日
学校便り No.3
羽村市立松林小学校

東京都羽村市羽4122-2 電話 042-554-7800

運動会を終えて

校長 瀬戸 隆幸

5月26日(土)は、天候に恵まれ、無事に運動会を実施することができました。前日の会場準備や当日の片付けのお手伝いをさせていただきました保護者・地域の皆様には、心より感謝申し上げます。当日は、一日をとおして強い日差しが照りつけることもなく、子供たちは元気いっぱい競技や演技を行うことができました。ご来賓の皆様をはじめ、多くの保護者・地域の方々にもご来校していただき、子供たちの頑張っている様子をご覧いただきました。また、温かいご声援を送っていただき、誠にありがとうございました。保護者・地域の皆様にとっても、それぞれ心に残っている場面があるのではないのでしょうか。以下に、私が印象に残っている場面を学年ごとにご紹介いたします。

- 1年生・・・「50メートル走」では、どの子も全力でゴールまで走り抜けることができました。2か月前まで幼稚園や保育園に通っていたことを考えると、その走り方はとても立派でした。
- 2年生・・・「松林天国」の演技では、とても明るい笑顔で踊っていました。一人一人が演技を楽しんでいる様子を感じられ、1年生をリードしながら元気に楽しく踊ることができました。
- 3年生・・・「SOSつなひき」では、力の限り綱を引き、「援軍」が来るまであきらめずに頑張っていました。最後まで勝負をあきらめない姿や仲間を助けるために全力で走る様子なども素晴らしかったです。
- 4年生・・・「松林SORAN2018～あなたにエールを～」では、昨年の経験もあり、ダイナミックでリズムに乗った踊りができました。手を伸ばすところ、腰を落とすところ、大きくポーズをとるところなど、体全体を使って表現できました。フラフープを使ったリズムダンスも軽快で、元気をもらいました。
- 5年生・・・「騎馬戦～紅白ウマ合戦～」では、上に乗る人の重さに耐え、必死に戦う姿や仲間と協力して相手を挟み撃ちにする作戦を考えた頭脳戦など、見どころ満載でした。中には、6年生の大將に果敢に挑み、見事に勝利したヒーローもいて、来年が楽しみです。
- 6年生・・・「トモよ」では、昨年の仙台すずめ踊りの経験を活かし、5年生をリードしながら演技していました。うちの色やかかけ声も見事に揃い、真剣な中にも笑顔が見られ、演技を楽しんでいるのが分かりました。集団行動の場面では、きりっとした表情ときびきびとした動きが素晴らしかったです。最後の表情も「やり遂げた！」というのがよく伝わりました。

各学年、上記以外の競技や演技、係活動等でも、子供たち一人一人が最後まで全力で頑張りました。結果としては白組が優勝しましたが、準優勝の赤組も含め全員の顔に「やり切った満足感」が見て取れました。それは、一人一人がめあてをもって練習に取り組んだからです。お互いに教え合い、励まし合うなど、みんなと一緒に取り組み、力を出し切ったからです。今年度の運動会は、「そろえる」をキーワードに取り組みました。列・あいさつや返事・身なり・動き・時間・気合い・気持ちの七つを意識しました。「そろえる」ためには、自分勝手やわがままでは駄目です。周りの人たちのことを考えて行動することが大切です。心がそろろうと動きもそろいます。逆に心がそろわないと、どんなに練習しても動きはそろいません。予定時間どおりに進行したのも見事でした。

学校では、これからも学校行事だけではなく様々な学習や体験をとおして、達成感や満足感を子供たちにもたせていきたいと考えています。このことは、子供たちの意欲を高め、自他を大切にしたり、困難なことにも打ち勝とうとする態度が身に付いたりするなど、子供たちの心の教育にもつながるからです。保護者・地域の皆様には、今後とも本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。